9月定例会議
平成27年10月30日発行
岩手県葛巻町議会
No.172

くずまき議会だより

26年度決算を認定
安心して住める施策に95億円 2p
町のお金をどう使った ～決算特別委員会～ 6p
今ここが聞きたい ～3議員が町政を問う～ 8p
子ども議会 町内の小学6年生が町に提言 13p

笑顔のつどい⑲

表　紙
町ゲートボール協会所属
「ふきのとう」の皆さん
（関連16Ｐ）

26年度決算
総額95億円

安心して住めるまちづくりを推進

9月定例会議

9月定例会議は、9月4日から11日までの8日間の日程で行われました。

冒頭、鈴木町長が再任に当たって所信表明を行いました。

町長から提出された議案は、26年度各会計の決算認定のほか、26年度一般会計補正予算など13件が提出され、すべて全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。

また、7日に行われた一般質問では3名の議員が登壇し、町の対応や考えをただしました。

バイオリン演奏を練習する　葛巻保育園児

町長3期目の所信を表明
「夢と誇りを持てる町に」

鈴木町長

3期目の町政運営は、町に住む誰もが「安心して」「夢と誇り」を持った生活をこの先も続けることができる葛巻町にしていくために、山村の持つ資源と機能を活用した取り組みに全力を尽くします。

「安心して暮らせる環境の確立」のために、葛巻病院、若者世代向けの住環境の整備や高齢者にやさしい生活環境の構築に取り組みます。

「次代を担う人材の育成と確保」のために、江刈小学校校舎改築など、子どもを産み育てやすい環境の充実、移住・定住・山村留学制度の推進、スポーツ・ツーリズムなど町へ足を運んでもらうための施策に取り組みます。

「地域産業の新たな展開と発展」のために、地域資源の高付加価値化と雇用創出、新葛巻型酪農構想の着実な推進をはじめ、農・商・工連携による産業振興、包括的な「くずまきブランド」の確立などの取り組みを強化します。

町が持つ資源を最大限に生かし、葛巻だからできる、葛巻にしかできない取り組みを大切にし、町の魅力向上と独創性を高め、人口減少問題を克服していきます。

決算の概要

26年度の一般会計と5特別会計の支出額は95億1680万円で前年度比8億3160万円、9・6%の増加です。

一般会計の支出総額は62億4825万円で前年度比5639万円、0・9%増加しました。総合運動公園多目的グランド改修事業など、普通建設事業費の増加が主な要因です。

会計別の決算状況は下の表のとおりです。

●26年度会計別の決算状況

会計名		歳入（収入）	歳出（支出）
一般会計		66億3016万円	62億4825万円
特別会計	国民健康保険事業	12億2464万円	11億4328万円
	簡易水道事業	5億5881万円	5億4922万円
	農業集落排水事業	1億9378万円	1億9048万円
	後期高齢者医療事業	7362万円	6967万円
	国保葛巻病院事業	9億 528万円	13億1590万円
合計		95億8629万円	95億1680万円

※病院事業会計の決算は、7月定例会議で認定しましたが、特別会計の決算額に含めています。

監査委員の意見

26年度決算は、病院事業会計を除く会計が黒字で各種財政指標も改善されており、財政運営の健全性が維持されています。

収入未済額が減少しており、職員の努力の成果が表れています。

本町の財政運営は約8割を地方交付税などの財源に依存している財政構造のため、自主財源の確保に努力が必要です。

町長に決算審査意見書を提出する監査委員

●健全化判断比率

各指標	26年度	25年度	比較
実質赤字比率（15%）	赤字なし	赤字なし	−
連結実質赤字比率（20%）	赤字なし	赤字なし	−
実質公債費比率（25%）	6.4%	7.8%	△1.4
将来負担比率（350%）	なし	なし	−

※各指標の( )内の%は早期健全化の基準で、数値が低いほど健全な財政運営になります。

財政健全化判断比率は「健全」を維持

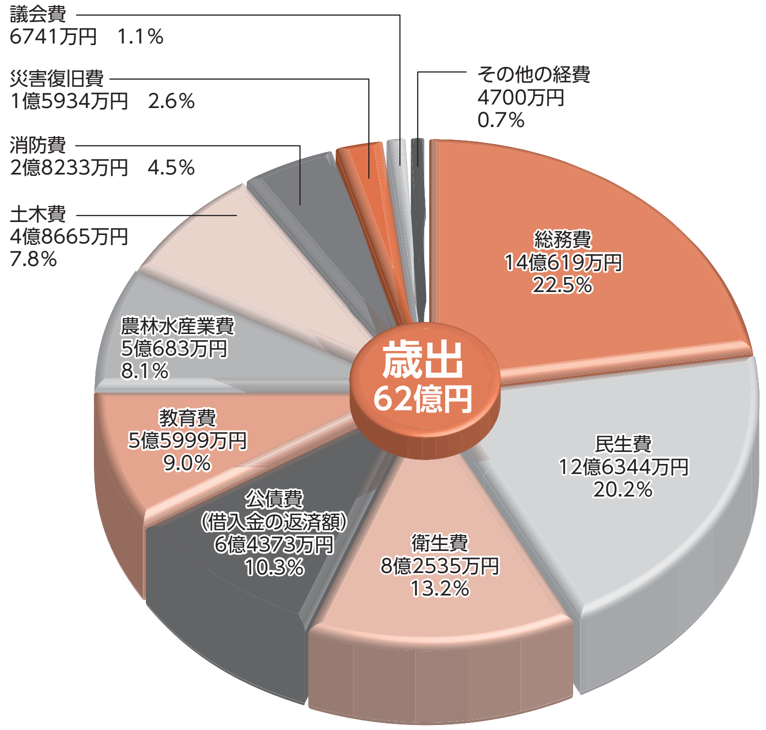
「財政健全化法」に基づく、26年度一般会計、特別会計、第3セクターなどの決算を含めた各指標は、左の表のとおりいずれも基準を下回りました。

また、簡易水道事業、農業集落排水事業のいずれも黒字のため資金不足は発生していません。

26年度一般会計決算を見る

教育費が50%増加

項　目	摘　　要
総務費	町の財産管理や町税の事務などに充てる経費
民生費	高齢者や障がい者、保育所の運営など社会保障に充てる経費
衛生費	保健・衛生・環境などの業務に充てる経費
公債費	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
教育費	小・中学校の運営や社会教育・体育事業などに充てる経費
農林水産業費	農林・畜産業の振興などに充てる経費
土木費	道路・公園・河川などの建設や維持管理に充てる経費
消防費	防災や災害時の活動などに充てる経費
災害復旧費	洪水などの被害を受けた施設を復旧する事業の経費
議会費	議会の運営に充てる経費
その他の経費	商工費、労働費、諸支出金、予備費などの経費



26年度一般会計の支出を町民一人当たりにすると　(家計簿に例えると・・・)

920,000円
[27年3月末の人口 6,796人]

繰出金 9.3%
子供への仕送り
85,000円

人件費 12.7%
食費
117,000円

負担金等 29.9%
年金・保険料等
275,000円

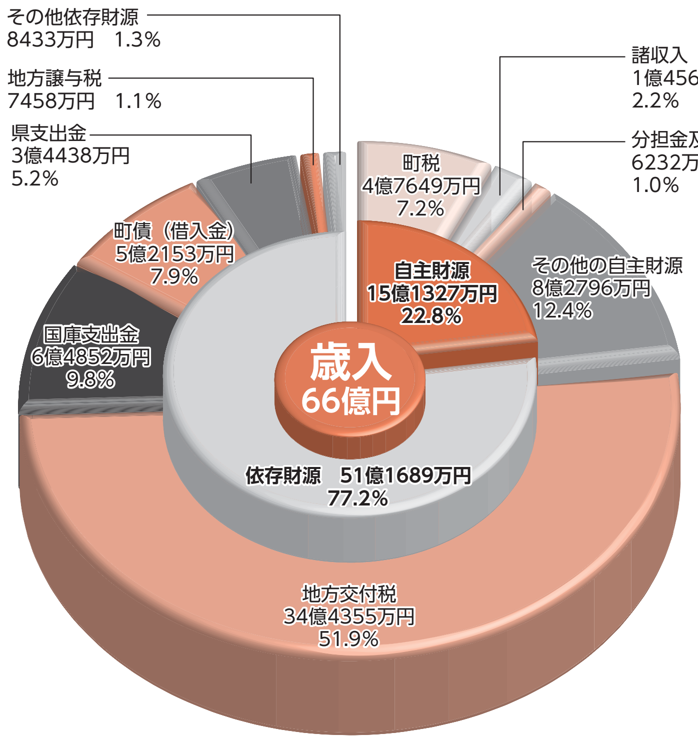
扶助費 7.5%
医療費等
69,000円

物件費 13.9%
光熱水費等
128,000円

建設事業費 16.4%
家の増改築等
151,000円

公債費 10.3%
住宅ローン等
95,000円

町の貯金が47億円に



項　目		摘　　要
自主財源［町が自力で収入できるお金］	町税	町民税や固定資産税など、町民の皆さんからの税金
	諸収入	町税等の延滞金や預金利子など
	分担金及び負担金	保育所や老人ホームなどの利用者が負担するお金
	その他の自主財源	使用料、手数料など他の収入科目に含まれないお金
依存財源［国・県などから、交付、割り当てられるお金］	地方交付税	町の財政需要の状況により国から配分されるお金
	国庫支出金	事業を行うために国からもらうお金
	町債	事業を行うために国や金融機関などから借りるお金
	県支出金	事業を行うために県からもらうお金
	地方譲与税	自動車重量税など国税から町に配分されるお金
	その他の依存財源	地方消費税交付金、利子割交付金、交通安全対策特別交付金など

歳入総額は66億3016万円で前年度比3297万円、0・5％の増加です。

歳入全体の約5割を占める地方交付税は、34億4355万円で前年度に比べて6410万円、1・8％減少しました。普通交付税の減額が主な要因です。

町債（借入金）は、5億2153万円で、公営住宅整備など普通建設事業費の増により、前年度比3847万円、8％増加しました。

町税は、4億7650万円で固定資産税の減により、前年度比489万円、1％減少しました。

歳出総額は、62億4825万円で前年度比5639万円、0・9％の増加です。

教育費は5億5999万円で、総合運動公園多目的グランド改修事業（人工芝・全天候型舗装トラック整備）、社会体育館耐震補強工事などハード事業の実施により、前年度比1億8586万円、50％増加しました。

そのほか、公債費（借入金の返済額）が前年度比9756万円、13・2％減少するなど、義務的経費（支出が義務づけられた経費）の節減に努めました。

基金（貯金）残高は、47億3047万円で、前年度比2億9653万円、6・7％増加しました。

町債（借入金）残高は、82億5217万円で前年度比4703万円、0・6％の減少です。

決算特別委員会

決算特別委員会（山岸はる美委員長、山崎邦廣副委員長）を設置し、9月9日に各会計の26年度決算の審査を行いました。
主な質疑の内容をお知らせします。

一般会計

町屋の利活用調査の内容は　政策秘書

問　町屋の利活用に関する調査業務の内容は。

答　新町地区の、町屋の利活用方法を検討する調査です。

本町を訪れる観光客の町場滞在を促すために、町屋の価値や誘客資源の掘り起こしの調査を行いました。

牧草地の除染今後の計画は　農林環境

問　牧草地の除染事業の実績と今後の見通しは。

答　26年度までに424ヘクタールの除染を行いました。補助事業が継続される28年度まで、確実に行います。

除染の計画面積は2000ヘクタールですが、傾斜地などで除染作業が困難な場所があるため、除染を実施できる面積は、約1000ヘクタールと見込んでいます。

検診受診率向上対策は　健康福祉

問　各種検診事業の受診率を向上させる対策は。

答　検診受診率の向上を目的に、病気に関係する資料の提供や生活習慣病予防の研修会を開催して、町民の皆さんの健康意識を高めることに努めています。

若者住宅など建設の計画は　総務企画

問　町有住宅などを、今後も増築する計画がありますか。

答　若い方を町外から受け入れるための住宅を、町内の各地域に整備する考えです。

本年度、定住促進住宅を中村地区に整備しました。五日市地区は現在建設中です。

パートナー事業昨年度の実績は　農業委員会

問　農業後継者等パートナー事業の実績は。

答　22年12月に協議会を立ち上げ、独身男女の結婚支援の活動を行っています。

26年度は、現代の結婚事情についての講演会や、出会いと交流の場としてのワインパーティを開催しました。25・26年度に、一組ずつカップルが誕生しています。

遊休農地解消活動の状況は　農業委員会

問　遊休農地解消のための活動状況は。

答　遊休農地面積は46ヘクタールで、町の農地面積4225ヘクタールに占める割合は1.1%です。

遊休農地の所有者の意向を確認して、農地の調整を行う「農地中間管理機構」などが貸借の調整を行い、遊休農地の解消に努めています。

牧草地の除染作業の様子（吉ヶ沢地区）

新病院建設進行状況は　病院葛巻

問　新病院の建設進行状況や、規模・特徴は。

答　現在、敷地造成と実施設計の作成を進めています。12月に本体工事を発注し、29年3月の完成を目指しています。

新病院は60床の規模で、廊下、外来の待合室スペースや病室を広く整備する計画です。各病室にトイレを設置し、冷房を全館に完備します。安心して診察を受けられるように、外来の中待合室を廃止して、直接診察室に入る設計にします。

特別会計

江刈簡易水道工事の状況は　建設水道

問　江刈簡易水道整備工事の進行状況と、今後の計画は。

答　30年度中の完成を目指して、計画どおり工事を進めています。

江刈簡易水道整備事業完成後は、馬淵川簡易水道など老朽化している箇所を整備する考えです。

水洗化支援事業効果は　建設水道

問　水洗化普及支援事業の導入による、整備の状況や事業効果は。

答　26年度は27件の補助事業の活用がありました。事業の推進により、町の水洗化率が1.3%上昇して、50.9%に増加しました。

町では、県平均の水洗化率（77.8%）の達成を目標にしているため、今後も事業を継続できるように内部で調整を進めます。

新たな水道管を設置（江刈馬渕地区）

賛成討論（要約）

鈴木　満　議員

私は、26年度一般会計と特別会計の歳入歳出決算を認定することに賛成の立場から討論します。

26年度は、町民が生活の中で不安に感じている部分を解消するために、「安心して住み続けられる町づくり」のための施策を推進しました。

町民生活に身近な部分では、「水洗化普及支援事業」の新設により、衛生的で快適な生活環境の整備に努めました。

子育て分野では、予防接種助成や多子世帯への保育料軽減措置が拡充され、安心して子育てができる環境づくりにつながりました。

新病院の建設も着実に進みはじめ、町民の健康と生命を守る大きな役割を担う施設であるため、事業執行に万全を期すよう望みます。

産業振興では、「新葛巻型酪農構想」が策定され、今後は構想の具体化により町の酪農全体の基盤強化が図られるものと期待します。

26年度の一般会計と特別会計は、各種事業が効率的・効果的に執行されたことを、高く評価します。

今後もこのような取り組みを継続し、地方創生など町が取り組むべき各種施策のさらなる充実、発展が図られることを期待します。

■反対討論なし

～ 今ここが聞きたい ～

９月７日に、３議員が一般質問を行いました。一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。
議員の質問できる時間は、１時間以内です。
※議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧ができます。

しばた いさお
柴田 勇雄 議員

問 高齢者施策の向上策は

答 社会参加を促す支援策を強化

議員 高齢者福祉は、今後、核家族化による老々介護、認々介護、一人暮らし高齢者の増加などの問題が山積しています。

高齢者福祉施策の充実向上の取り組みを伺います。

町長 昨年10月１日現在の高齢化率は、39・９％です。５年後の高齢化率推計は44・１％で、高齢者人口が減少し、高齢化率は上昇します。

町内の老人クラブ数は、現在26クラブ（５７１人）加入率20・７％で、会員が年々減少しています。高齢者の生きがいづくり、地域での孤立防止を図るため、老人クラブの体制強化は重要と考え、関係団体と活動支援に努めます。

高齢者の虐待防止施策は、先般、特養「高砂荘」で施設職員による入所者への虐待事件が発生しました。誠に遺憾な事件で、入所者、ご家族にお見舞い申し上げます。

18年４月に高齢者虐待防止法が施行され、特に家族や親族の「養護者」と「施設職員」による虐待防止規定が厳格化されました。虐待は、地域や職場での「気づき」が早期発見につながることから、養護者、施設職員はもとより、民生児童委員、地域安心生活支援員などの関係者を含めた研修会を定期的に開催するなど啓発活動に努め、高齢者にやさしいまちづくりを進めます。

長寿を祝う会の様子

要介護認定者は６０８人で、うち軽度の認知症が疑われる高齢者は３５８人（約６割）です。認知症は、閉じこもりや寝たきりとの関係が深いと考えられ、社会参加活動や人との関わりを持ち続ける対応策を強化します。

現在、要支援１、要支援２の方を対象に行っている介護予防訪問介護と通所介護のサービスは、29年４月から地域支援事業として町に日常生活支援事業とともに移行されます。今後、具体化に向けた検討を行います。

問 林道案内沢線の通行不能解除は

議員 林道案内沢線が、通行規制の理由が分からないまま２年以上も通行不能の状態です。通行止め解除の見通しは。

答 10月上旬までに一部を通行解除

町長 この林道は急な山あいを走る総延長９・８㎞の路線です。特に平船地区側は、法面の傾斜がきつく軟弱な土質から豪雨などの影響を受けやすく、25年９月に一部崩落があり、その後、通行止めにし、経過観察してきました。

10月上旬までには、路線をふさいでいる土砂などの除去作業を進めて一部通行解除を行い、来年度に抜本的な復旧工事を実施して、通行の安全確保と本路線の機能向上に努めます。

やまぎし み
山岸はる美 議員

問 労働力人口の確保策は

答 新たな地域産業を創出

議員 町内産業の活性化について伺います。

町が進める労働力人口の確保策は。

町長 22年国勢調査の産業別就業人口は３４８１人で、15歳以上の就業率は52・３％です。20年前の調査と比較して、就業人口で約２０００人、就業率で13・1ポイント減少しています。このような状況の中、22年度に「若者・高齢者雇用奨励金」を創設して、５年間で47事業所、１７６人を対象に約５３００万円の奨励金を交付しました。

今後の労働力人口の確保策として、基幹産業の酪農、林業の振興を柱に、新葛巻型酪農構想の推進、循環型の林業振興、包括的な「くずまきブランド」の確立などに取り組み、雇用の場の確保と次代を担う人材の育成に努めます。

特にも、若い世代が町に定住し、各産業分野に定着して活躍できるよう育成・支援の体制を整え、新たな地域産業の創出などによる雇用・就労を増やす考えです。

議員 町発注工事の精算払いを早める考えは。

町長 請負業者から工事完成の通知を受けた日から14日以内に完成検査を実施し、完成検査合格後に請負業者から請求を受けた日から40日以内に支払いをしています。支払い日数の設定は国の規定に準じたもので、妥当なものと考えます。

請負業者から相談があった場合には、契約書に定める規定の範囲内で、個別の事情に対応しています。

議員 減少し続ける農家への支援と指導の、関係機関との連携の状況は。

町長 人口減少とともに農家戸数、生産量とも減少傾向に歯止めがかからない現状です。

町の基幹産業の酪農を持続発展していくために、新葛巻型酪農構想を昨年度取りまとめました。今後は、この構想の着実な実現に向けて、規模拡大を望む農家に対して各種施策を積極的に展開します。

農家指導の関係機関との連携は、農協が主催する栽培指導会などに、農業改良普及員が巡回しながら指導を行う体制を確立しています。

山ぶどう栽培農家の栽培指導会の様子

今後も関係機関と連携を図り、各種会議などで情報共有を積極的に行い、農業活性化への取り組みを推進する考えです。

議員 新たな転作品目の導入の考えは。

町長 新たな転作品目の導入は、国の戦略作物などの状況を勘案しながら検討します。

将来的には、バイオマスプラントの排熱を利用した施設園芸の導入など、より収益性の高い地域振興作物の導入の検討を進める考えです。

一般質問

やまざき くにひろ
山崎 邦廣 議員

問 町税の徴収率向上対策は
答 コンビニ収納の導入など検討

議員 町税収納の取り組みの現状を伺います。

町長 26年度の町税全体の徴収実績は、調定額7億6710万円（前年度比1263万円の減）、収入済額6億7090万円（前年度比895万円の減）で収納率は87.5％です。収納率は前年度を0.3％上回り、重点目標としていた前年度を下回らない収納率を達成しました。

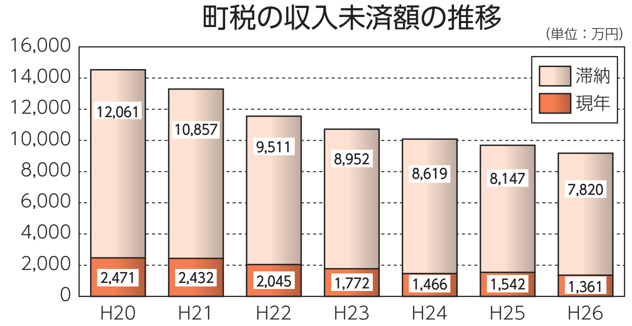
町県民税、固定資産税などの普通税の収納率は92.9％で、前年度より0.1％増加、国民健康保険税の収納率は76.5％で、前年度より0.5％増加しました。

町税収納の取組みとして、副町長を本部長とする町税徴収対策本部会議を年度当初に開催し、年間の徴収計画を協議しています。主に、納付催告書の発布、大口滞納者に対する納付相談、課長等による訪問催告を実施しています。併せて、財産調査を進めながら債権の差し押さえなどの滞納処分による町税の収納を実施しています。

町税全体の収入未済額は、20年度から約5400万円の滞納額が縮減しています。課長などを中心に全庁的な取り組みで、職員の税収納の重要性に対する意識を高めながら、町財政の重要課題として収納率の向上に取り組み、収納率、収入未済額が年々改善しました。

さらには、岩手県地方税特別滞納整理機構に21年度から2年間町職員を派遣し、徴収困難事案の整理や滞納整理に関する実務を体得し、そのノウハウ活用できたことも収納率の向上などの大きな要因と考えます。

町税の収入未済額の推移



議員 町税の徴収率向上の取り組みは。

町長 町税の口座振替の利便性を向上するため「ゆうちょ銀行」を追加したほか、会社の従業員の町県民税の納付を、事業主が給与から天引きして納付する特別徴収対象事業者を拡大することで、納税しやすい環境の充実に努めています。

さらに、24時間納税が可能なコンビニ収納の導入など、収納率の向上や期限内納付の拡大につながる新たな取り組みや仕組みの導入を検討します。

滞納繰越分は、債権の差し押えに加え、不動産の差し押え公売などの手続きのほか、財産調査を実施して（※）不納欠損の可否など、滞納処分の強化を検討します。

納税者間の公正・公平性を確保する観点からも滞納整理の強化は重要なため、行政サービスの利用制限を再度検討するなど、より一層、収納率を向上させるための取り組みを総合的に実施する考えです。

（※）不納欠損
滞納分の徴収金を何らかの 理由で徴収が行えず、今後も徴収の見込みがないため、未収になっている税金を消滅させること。

公共施設等整備基金を増額

9月定例会議などで、27年度補正予算、条例の一部改正などの審議が行われました。

主な内容は次のとおりです。

27年度補正予算

会計名		補正額	補正後の予算額
一般会計		2億1381万円	64億1174万円
特別会計	国民健康保険事業	8379万円	13億4539万円
	簡易水道事業	2979万円	6億2558万円

《主な予算の使いみち》

- 公共施設等整備基金の積み立て ………… 1億5000万円
- 木材加工施設等整備補助金 ………………… 2850万円
- ホームページリニューアル業務（セキュリティー強化）………………… 265万円
- 高額療養費管理システム導入業務 ………… 203万円
- 緊急通報装置の購入 ……………………… 54万円

補正予算

一般会計に2億1381万円追加し、総額を64億1174万円としました。

公共施設等整備基金に1億5000万円を積み立て、総額26億4405万円に、町の基金（貯金）総額が50億6588万円になります。

各会計の補正額と主な予算の使いみちは上の表のとおりです。

増設する緊急通報装置

【主な質疑】

ホームページリニューアル（総務企画）

問 町のホームページのリニューアル業務の内容と完成時期は。

答 ホームページのデザインを全面的にリニューアルし、不正アクセスなどに対応するためのセキュリティー対策を強化します。28年3月末までに完了します。

木材加工施設整備の内容は（農林環境）

問 木材加工施設等整備事業の内容は。

答 木の皮をバークに製造する機械を、畜産開発公社に整備します。

農家などへの一般供給は、機械の能力や原料の現状を見極めながら検討します。

地区センター修繕の内容は（教育委員会）

問 修繕を必要とする地区センターの箇所と、その改修の内容は。

答 冬期間の雪の重みによって破損した、土谷川生活改善センターの屋根を修繕します。

スコアボード改修見込みは（教育委員会）

問 総合運動公園野球場のスコアボードが落雷によって破損していますが、改修の見込みは。

答 国体の受け入れに万全を期すため、年度内に改修する考えです。

リニューアルを進める町のホームページ

定例会議で決まったこと

条例改正

●個人情報保護条例の改正

（※）マイナンバー制度の導入に備えた条例の改正。

●手数料条例の改正

マイナンバー制度導入による、通知カード、個人番号カードの再発行手数料を設定。

（※）マイナンバー制度
住民票をもっている全ての人に12桁の番号を付して、税や社会保障などの分野で効率的に情報を管理するための制度。

人事案件

●副町長の同意（再任）

觸澤義美さん（田子）を任命することに同意しました。

任期は、31年9月30日まで。

●教育委員会委員の同意（再任）

千葉洋一さん（茶屋場）を任命することに同意しました。

任期は、31年9月30日まで。

●固定資産評価審査委員会委員の選任（再任）

漆真下孝幸さん（大沢）を選任することに同意しました。

任期は、30年9月30日まで。

●農業委員会委員の推薦

橘秀子さん（江刈馬渕）、星野順子さん（星野）、木戸場真紀子さん（小苗代）、久保淳さん（山岸）を推薦することに決定しました。

任期は、30年8月19日まで。

○９月定例会議などで、議員の判断で決定した議案（※今回は賛否が分かれた議案はありませんでした）

議案等番号	件名と主な内容 ＼ 議員名	議決結果	山崎邦廣	大平守	柴田勇雄	鈴木満	姉帯春治	小谷地喜代治	山岸はる美	辰柳敬一	高宮一明	中崎和久
議案40号	平成27年度葛巻町一般会計補正予算（第２号）･･･２億1381万円を追加して予算額64億1174万円に。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案41号	平成27年度葛巻町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第１号）･･･8379万円を追加して予算額13億4539万円に。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案42号	平成27年度葛巻町簡易水道事業特別会計補正予算（第１号）･･･2979万円を追加して予算額６億2558万円に。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案43号	個人情報保護条例の一部改正･･･マイナンバー制度の導入に備えた条例の改正。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案44号	手数料条例の一部改正･･･マイナンバー制度の導入による、通知カード、個人番号カードの再発行手数料を設定。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	農業委員会の選任による委員の推薦･･･橘秀子さん（江刈馬渕）、星野順子さん（星野）、木戸場真紀子さん（小苗代）、久保淳さん（山岸）を推薦。	推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
同意２号	教育委員会の委員の任命に関し同意を求めること･･･千葉洋一さん（茶屋場）を任命（再任）することに同意。	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
同意３号	固定資産評価審査委員会の委員の選任に関し同意を求めること･･･漆真下孝幸さん（大沢）を選任（再任）することに同意。	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
同意４号	副町長の選任に関し同意を求めること･･･觸澤義美さん（田子）を選任（再任）することに同意。	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
認定２号	平成26年度葛巻町一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
認定３号	平成26年度葛巻町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
認定４号	平成26年度葛巻町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
認定５号	平成26年度葛巻町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
認定６号	平成26年度葛巻町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－

※ ○は原案に賛成。
※ 議長は採決に加わりません。

葛巻町60周年記念事業

子ども議会

子ども議会の進行を務めた、山形奏心議長（右）
吉澤明香里副議長（左）

葛巻町60周年記念事業「子ども議会」を８月10日に開催しました。町内の５小学校の６年生30人が出席し、町が取り組んでいる観光や福祉、環境の施策に対する質問や要望を提言しました。

質問・答弁の内容を要約してお知らせします。

葛巻町が目指すまちづくりは

【質問者】
葛巻小学校
大久保知紀議員
村田帆議員
本地楓花議員
上平奈和議員
大久保響議員

問 町では、どのようなまちづくりを目指していますか。

答 町にある産業や資源、環境を最大限に生かし、山村のモデルとなるまちづくりとして「夢のあるまちづくり」、「住み続けたいと思える町」、「誇りを持てる町」に取り組んでいます。

将来の計画は、町の基幹産業である酪農が10年後も農山村の酪農経営モデルとなるよう、高品質な「くずまきブランド牛乳」の確立を目標とした「新葛巻型酪農構想」を進めます。

クリーンエネルギーは、酪農団地で畜ふんを利用したバイオマス発電や熱源利用を行い、そのエネルギーを町内で消費できる環境をつくりたいと考えています。

町が持つ資源と魅力を積極的に活用しながら、50年先も町民の皆さんが町に誇りを持ち、この町に住んでいて良かったと思えるように、葛巻らしい一歩先行くまちづくりを進めます。

私たちの思いを町づくりに!!

町の観光情報PRの方法は

【質問者】
葛巻小学校
服部河来 議員
山中竜哉 議員
八木萌香 議員
大石空 議員

問　町の観光で力を入れていることは何ですか。観光情報をどのようにPRしていますか。

答　町には、温泉、ゴルフ場などの観光施設はありませんが、町にある地域資源や山村が持つ機能を生かした体験やイベントなどの取り組みで、一人でも多くの観光客に来てもらう努力をしています。

観光のPRは、くずまき高原牧場などと協力して町内で様々なイベントを開催しているほか、盛岡や東京などに出向いて「葛巻町」の良さを情報発信しています。

高齢者の安心確保どのような工夫で

【質問者】
葛巻小学校
上野璃子 議員
向井大河 議員
家田佳哉 議員
笹川大成 議員

問　高齢者の方が安心して暮らせるために、どのような工夫や取り組みをしていますか。

答　車の運転ができない高齢者のために、通院や買い物がしやすくなるよう「100円バス」を運行しています。

また、お年寄りの家庭にお弁当を届ける「配食サービス」などで、高齢者の方への声がけや安心して生活できる工夫をしています。さらに、「地域安心生活支援員」を各地区に配置して、地域でお年寄りを見守る体制をつくっています。

堂々と質問をする子ども議員

森林保全の活動仕組みや内容は

【質問者】
小屋瀬小学校
土谷貴哉 議員
赤石すみれ 議員
外山瑞希 議員
佐藤里咲 議員

問　町の森林を守る取り組みを教えてください。

答　森林を守る取り組みは、森林資源を活用する木質バイオマスや薪ストーブ、ペレットストーブの利用拡大を推進しているほか、植樹祭やトリプルまきフェスタなどのイベントを通じて、森林資源の大切さを情報発信しています。

森林は、とても大切な財産ですので、自然環境を守る取り組みが大事です。ふるさと葛巻町の豊かな自然の象徴である森林の保護と、美しい自然と環境が未来にも残せるように、一緒にがんばりましょう。

問　太陽光発電施設を各学校などに増やす計画がありますか。

答　町では、町内すべての小中学校に太陽光発電システムを設置する準備を進めています。小中学校以外の施設では、太陽光発電システムを各地区のセンターや公民館に設置しています。今後、社会体育館に設置する予定です。

先生や町議員らが見守る中で行われた子ども議会

観光客が増える工夫や取り組みは

【質問者】
吉ヶ沢小学校
畠山春輝 議員
芳田瞬 議員

問　町に多くの人が来てもらえる取り組みを考えていますか。

答　ホームページやフェイスブックなどでの情報発信や、私自身も出張などで出かけた際に、たくさんの人に知ってもらえるようにPRをしています。

多くの人に来てもらうためには、道路環境の整備も重要だと思います。トンネルなどを整備し、葛巻町と岩手町の間が15分ぐらいで行き来できるようになれば、より多くの人から来てもらえると考えているため、国や県に道路整備の要望を行っています。

希望するクラブで部活がしたいです

【質問者】
江刈小学校
山本沙也加 議員
中居颯真 議員
大川原芽生 議員
木戸場凜 議員
大川原陽斗 議員

問　中学校で希望する部活動ができるように考えてほしいです。

答　町では、誰もが自分の好きな部活動に取り組みたいという希望をかなえたいと思っているため、各中学校の部活動を一本化し、町のバスなどを使って生徒の送迎を行うことで、部活動の選択の課題を解決したいと考えています。

また、合同部活動を実現させるためには、中学校総合体育大会や新人戦に中学校単位でなく市町村単位での参加が可能となるように、中学校体育連盟から認めてもらう必要があります。町が県と岩手地区中学校体育連盟に対して、町内の部活動の現状を説明した結果、来年度からの3校合同部活動の実現に向けて大きな前進がありました。

町では、これからも色々なスポーツ選手から指導を受ける機会をつくり、みなさんの部活動をサポートしたいと考えています。

資料を活用して質問をする子ども議員

安全で安心な通学路の整備を

【質問者】
五日市小学校
堀内華来彩 議員
下野光 議員
栗村龍斗 議員
橘幸恵 議員
辰柳遥菜 議員

問　登下校するときに、歩道が狭かったりする場所があるので危険です。新たに歩道を整備することができますか。

答　皆さんが通う道路や歩道の危険な場所をできるだけ早く無くして安全に歩行できるように、国道や県道の管理者の県に整備をお願いしていきます。

町道は、これまでに要望のあった場所の整備を終えていますが、今後、新たな要望が出る場合には、早く対応します。

子ども議会を終えて

まちづくりや日ごろ身近に感じている学校生活の問題などの意見があり、葛巻のこと、地域のこと、学校のことを、しっかりと真剣に取り組んで考えていることを再確認しました。

「極めて優秀な子ども議会」でした。

中崎議長

No.172
9月定例会議
平成27年10月30日発行
発 行　岩手県葛巻町議会
編 集　広報常任委員会

〒028-5495 岩手県岩手郡葛巻町葛巻16-1-1
TEL・0195-66-2111　FAX・0195-66-2780
ホームページ▶http://www.town.kuzumaki.iwate.jp/

INTERVIEW

インタビュー

盛岡信用金庫葛巻支店長
小川　亮（おがわ りょう）さん（43歳）

地域に信頼される金融機関へ

Q．自己PRをどうぞ

4月から、盛岡信用金庫葛巻支店長として、お世話になっています。二戸市（金田一）の出身です。3月まで盛岡市の本町支店で支店長代理を勤め、葛巻町には単身で赴任しました。

趣味は、オートバイのツーリングなので、自然豊かな町内を巡りたいと思っています。体を動かすことが好きなので、高校生の子ども2人と一緒に、ソフトボールやスキーをすることが多いですね。

Q．葛巻町の印象は

葛巻町に赴任した際に優しく受け入れていただき、皆さんが常に笑顔で接してくれるので、とても心が温かい方が多いですね。

町内の公共施設に太陽光発電施設の整備を進めたり、消防団の活動が活発なので、町全体の防災意識が高く感じます。

商工業者への町の補助制度が充実していて、とても特徴的な取り組みだと思います。

Q．信用金庫の役割は

地元の金融機関として、皆さんから親しみを感じていただいて、何でも相談してもらえるように心がけています。特にも、事業改善や事業継承の相談などに積極的に対応しますので、お気軽に活用してください。

Q．皆さんにメッセージを

町のイベントに参加して、多くの皆さんと触れ合う機会を楽しみにしていますので、もっと葛巻町のことを教えてほしいです。よろしくお願いします。

国体の成績を町長に報告する「ふきのとう」の皆さん

表　紙　「ふきのとう」の皆さん

第70回国民体育大会のゲートボール競技が、9月5日～6日の2日間、和歌山県高野町で行われ、町ゲートボール協会所属チームの「ふきのとう」が東北代表として初出場し、第4位に輝きました。

各種大会で上位の成績を収めるなど、今後の活躍が期待されます。

（表紙：左から、坂下孝一さん、本宮秀彦さん、丹内久規さん、入月文彦さん）

情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

7月	22,000円	（文化協会40周年記念祝賀会ほか）
8月	54,000円	（戦没者追悼式ほか）
9月	25,000円	（高砂荘敬老会ほか）

次の定例会議は12月4日（金）です。

編集後記

収穫の時期を迎えましたが、皆様の「収穫」はいかがでしたか。日没が早くなりましたので農作業にあたっては慌てず、急がず事故のないようにお気をつけください。

本号では「子ども議会」の活発な質疑の様子をお知らせしました。この「子ども議員」の中から将来町の議員が誕生するのではと楽しみです。私たち議員の任期も残すところ約3カ月。最後まで全力で取り組みます。

広報常任委員会
委員　姉帯春治

「くずまき議会だより」は、ユニバーサルカラーとユニバーサルフォントに対応しており、より多くの方に視認しやすく、判読しやすいように配慮して制作しております。一部当たり約58円で作成されています。
印刷：㈱白ゆり　〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ6-1-50

森林認証した紙を使用しております。

VEGETABLE OIL INK
UD FONT